

民生委員・児童委員の活動を発信!!

Well ウエル おおさか

35

2016.7

特集

第68回 大阪府民生委員 児童委員大会

方面委員制度創立100周年に向けて

◎イキイキ ハツラツ

民生委員・児童委員さん

守口市民生委員児童委員協議会

民児協だより

池田市民児協／大東市民児協

河内長野市民児協／高石市民児協



特集

第68回

大阪府民生委員児童委員大会

日時 平成28年5月13日
13時～15時30分

会場 大阪国際交流センター
大ホール

当日は、大阪府内の民生委員・児童委員をはじめ多くの来賓が出席し、永年功労者等への表彰や記念講演、100周年記念事業スローガンの発表などが執り行われました。

司会

守口市民児協
ふじた ふみで
藤田 富美子さん

第一部：式典を盛大に挙行

今大会では、司会を守口市民児協の藤田富美子さんが務められ、島本町民児協の横井正子会長による「開会のことば」で第一部：式典がスタート。「民生委員児童委員信条」や「児童憲章」の朗読のあと、松井一郎大阪府知事のあいさつを植田浩大阪府副知事が代読。熊本地震で被災された方々へのお見舞いを述べられたあと、「災害時に、支援を必要とされる方を支えることとの重要性を改めて痛感。大阪府では地域福祉のセーフティネットの強化を重点的に取り組んでいる。いざという時、助け合いのネットワークを作るには民生委員・児童委員の力添えが不可欠。公民協働による大阪の福祉をより一層充実していきたい」と協力を要請しました。

次いで、大阪府民児協連の石原欽子会長が「孤立している人々や災害時の要援護者への支援などを重点に、常に住民の立場に立った寄り添う相談支援活動を展開していきたい。本年の一斉改選では、新任委員へのサポート体制を充実し、民生委員・児童委員がやりがいをもって活動できる環境づくりを進めたい」と抱負を述べました。

また、大阪府社会福祉協議会の総山哲男会長(当時)は「生活困窮者自立支援事業や福祉人材の確保、育成、定着。社会福祉法人による社会貢献事業を展開し、相談支援体制の充実を図っていきたい。安心して暮らせる社会の実現をめざし、皆様のより一層のお力添えをいただきたい」と述べました。



大阪府社会福祉協議会
かせやま てつお
総山 哲男 会長(当時)



大阪府民児協連
いしはら よしこ
石原 欽子 会長



大阪府
うえだ ひろし
植田 浩 副知事



第68回 大阪府民生委員児童委員大会 大会宣言

- 一、住民一人ひとりの置かれている状況や思いを真摯に受け止め、住民の立場に立った「寄り添う」個別援助活動を推進し、早期に必要な支援につなぎます。
- 一、複雑で困難な生活課題を抱え支援を必要とする人々への見守り・相談支援活動を着実に進め、地域の幅広い関係者とともに住民参加による支え合いのまちづくりを進めます。
- 一、子育て中の家庭を支えるとともに、子どもを虐待や犯罪被害、貧困の連鎖などから守り、子どもが健やかに成長できるよう取り組みます。
- 一、災害時要援護者を地域全体で支えられるよう、安否確認体制の確立や各種団体とのネットワーク構築に取り組むとともに、地震や相次ぐ災害で被災された人びとや被災地の民生委員・児童委員のために求められるあらゆる支援について全力で取り組みます。
- 一、本年の一斉改選時における円滑な引継ぎや、新任民生委員・児童委員への情報提供などサポート体制の充実を図るとともに、関係機関との連携のもと、民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりに努めます。

平成28年5月13日
第68回 大阪府民生委員児童委員大会

活動事例発表



岸和田市民児協
いずもと のりこ
泉本 法子さん

『子育て中の母親が孤立しないよう子育てサロンを開催し、地域が元気になるよう楽しく活動している』と発表しました。

活動事例発表では、岸和田市民児協の主任児童委員代表の泉本法子さんが「岸和田市の児童委員活動について」と題し、「主任児童委員部会では、情報交換、研修会、児童養護施設への支援、部会だよりの発行など様々な活動を行っている。また、『こんなに赤ちゃん事業』では、新生児家庭に地域の情報を提供。子育て中の母親が孤立しないよう子育てサロン

子育て支援の活動事例を発表

永年功労者等へ 表彰状を授与

表彰状授与式では、197人の民生委員・児童委員と64人の福祉事務職員、子どもさわか賞に19団体が表彰され、代表者に表彰状と感謝状が授与されました。

最後に、あらゆる人々が地域社会の一員として尊重される「福祉と共生のまちづくり」をめざす取り組みの推進を第68回大会宣言として採択し、第一部を終了しました。

当日は熊本地震への支援募金を実施し、27,385円寄せられました。全国民生委員児童委員連合会を通じて被災地の民生委員・児童委員や民児協に届けます。



表彰状・感謝状 を受けた方

大阪府知事表彰

- 永年勤続民生委員
会長・副会長表彰
(10年勤続) 3人

代表 田尻町民児協
在木清子さん



大阪府知事表彰

- 永年勤続民生委員
副会長表彰
(10年勤続) 2人

代表 岬町民児協
辻 俊盛さん



大阪府知事表彰

- 永年勤続
民生委員表彰
(20年勤続) 97人

代表 岸和田市民児協
根末 勝さん



大阪府知事表彰

- 永年勤続
主任児童委員表彰
(20年勤続) 1人

守口市民児協
栗原恵美子さん



大阪府知事表彰

- 優良民生委員表彰
(10年勤続) 80人

代表 富田林市民児協
内垣 誠さん



大阪府知事表彰

- 優良主任
児童委員表彰
(10年勤続) 3人

代表 吹田市民児協
東野光子さん



- 大阪府民生委員
児童委員協議会連合会
子どもさわやか賞 19団体

代表
箕面市立第三中学校生徒会



- 社会福祉事務職員に対する
大阪府民生委員児童委員
協議会連合会 会長感謝状 64人

代表
泉南市 川端和行さん



大阪府民生委員(方面委員)制度 創設100周年 記念事業 スローガン 決定!!

人々に よりそい100年 これからも

第三部では、大阪府民児協連の石原欽子会長より100周年記念事業スローガンが発表されました。

平成30年には、民生委員制度の前身である方面委員制度が100周年を迎えます。今後、ますます活動が充実し、安心して暮らせるまちづくりを地域の中に広げていくことができるよう、スローガンが作成されました。地域の方々への理解促進やPR活動にぜひご活用ください。



作者の肥田時子さんに記念品が渡されました。

●スローガン作者●

民児協の仲間や地域の人々に支えられ、27年間民生委員・児童委員を続けることができました。

私の祖父は方面委員でした。祖父からつながってきた、人々によりそい活動がこれからも続いていってくれたら、そのような思いをこめました。



枚方市民児協
ひだ ときこ
肥田 時子さん



『あきらめない心』

第二部は、北京・ロンドンパラリンピック陸上日本代表の中西麻耶さんを招き、記念講演を開催しました。



北京・ロンドンパラリンピック
陸上日本代表
中西 麻耶さん

中西さんは、大阪生まれの大分育ち。中学から始めたソフトテニスでは、高校在学時にインターハイに出場。卒業後は、地元大分で開催される国体への出場をめざしていましたが、2006年に仕事上の事故で右足を切断。
しかし右足が義足となってからも、チャレンジ精神を失わず、2007年より陸上に転向。その後、僅か半年で障害者陸上大会の日本記録を樹立。さらに北京パラリンピック、ロンドンパラリンピックに出場。2016年5月1日には、5メートル51の走り幅跳び日本記録、アジア記録を出されるなど、現在も、リオデジャネイロパラリンピック、東京パラリンピックでの金メダル獲得をめざし、活動が続いています。

記念講演では、ご自身の激動の半生を振り返ったうえで、諦めずに挑戦することの大切さや、楽しんで物事に取り組むことの大切さなどをお話しいただきました。



義足をファッションの一部として楽しんでいる中西さん。1人1人に語りかけるように、民生委員・児童委員活動にエールを贈られました。

「誰しも弱いところがありますが、どう向き合うかで人生は変わります。それは、自分を愛せる人になることです。皆さんも人のために活動していると、どうしても、自分のことがおろそかになることがあると思います。そんなとき、どうぞ、少しの時間だけでも自分を大事にする時間をもってください。

そして、あきらめない心について。勇気は『あるか、ないか』ではなく、『出すか出さないか』です。自分の中にある勇気を出し、自ら一歩踏み出すことが大切です。皆さんも100周年という大きな事業に向けて、いろいろな取り組みでいかれているとのこと、ぜひとも新しいことに勇気を出して取り組んでいってください。私もまた、どこかでみなさんと社会貢献活動ができればうれしいです」

大阪府民児協連 子どもさわやか賞表彰式 19団体が受賞

地域で、高齢者や障がい者との交流活動や、公共の場の美化清掃などのボランティア活動を意欲的に行っている子どもたちを「子どもさわやか賞」として表彰。本年度は、幅広い活動を行う19団体が受賞されました。

「子どもさわやか賞」受賞団体の概要は、
本会ホームページをご覧ください。



当日出席した子どもたちが登壇。
左から箕面市立第三中学校生徒会、寝屋川市立北小学校三線・お離子教室、東大阪市立石切東小学校、阪南市立鳥取中学校生徒会、高槻市 希望の杜 剣道部

缶バッジをつけて
いじめゼロを推進

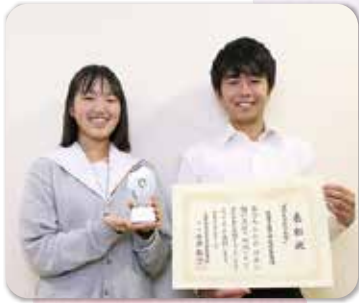
今回の大会では、「子どもさわやか賞」の受賞団体を代表して、箕面市立第三中学校生徒会の道端海さん、樽谷米花さんに表彰状が授与されました。箕面市立第三中学校では、いじめを減らし生徒が過ごしやすい学校にしようと「いじめZERO」活動に取り組んでいます。平成21年から活動を開始し、シンボルマーク入りの缶バッジを作成。生徒会が中心となり、いじめの寸劇を演じるなど、PR活動を行っています。生徒たちは「行動宣言」を記入したカードと引き換えにバッジをもらい、1人1人が身につけることで、いじめをしない、させない、許さないという気持ちを高めることにつながっています。



箕面市立
第三中学校生徒会
たるたに まいめ
樽谷 米花さん

学校内だけでなく、
地域にも広めたい

「今回、受賞と聞いて驚いたが、いじめZEROが評価されて嬉しい。妹や弟たちにもいじめのない学校生活を送ってほしいので、今後も広めていきたい。人の悪口を言わないとか、馬鹿にしないとか、そういう空気づくりをしていきたい」と話す2人。中学校では、クラスで何か問題があっても、みんなで集まって反省会をし、クラス全員で解決しようという空気が生まれているそう。また、以前はいじめを見ても傍観者にまわっていたけれど、今は自分から注意できるようになったと話します。



箕面市立
第三中学校生徒会
みちばた かい
道端 海さん

最近は小学校に出向き、児童会の子どもたちと、いじめについての行動宣言とバッジの交換を行いました。また、地域の関係者が集まる会議では先生を通じて民生委員・児童委員など地域住民にバッジ等を配布しています。

今後は中学校区内の小学校、幼稚園、保育所、そして箕面市全体にこの取り組みを広めていきたいと考えています。



「いじめZERO」
シンボルマーク入り
缶バッジとストラップ



「方面委員制度創設100周年」～林市藏の精神をふり返る～ 林市藏の生涯と方面委員制度創設の動機

■ 林の幼少期

林市藏は、1867（慶応3）年11月に生まれた。生地は、現在の地名表記で熊本市中央区横手2丁目辺りである。士族の父には維新後も禄があったが、1872（明治5）年に病死し、5歳の林が相続した。今で言えば遺族年金ということになる。母には医家の兄が一人いて、後見として頼りにしたらしい。だが母は寝たきりの姑を抱え、「林の雑巾」と陰口を叩かれるほど粗末な服装で通し、煙草巻きの内職で家計を支えたという。

■ 帝国大学卒業まで

長じて林は、せいせいこう 済々黌（現県立済々黌高校）に通った。入学、卒業は不明であるが、済々黌同窓生として遇されている。1887（明治20）年、熊本に第五高等学校が創設され、同年11月に入学した。予科、本科を終えるまで合計6年を要している。五高時代は、寮で第2期の炊事委員になった。自炊制の寮では、委員の



熊本城の御幸橋畔近くに建つ民生委員制度創設70周年記念碑。「深則新」という林の言葉が刻まれている。2004年著者撮影。

誠実さが問われる。林は、信用の

大切さを知る人間だったのだらう。1893（明治26）年7月に第2回卒業生として五高を卒業した。同年9月帝国大学法科大学に入学した。東京では有斐学舎に入った。この学舎は、元藩主家の財政支援を得て、熊本出身者の便宜のために設けられた学生寮であり、学資の給費もあった。その後郷里の育英会から奨学給付を受けた。五高時代の恩師からの推薦によるものであった。こうして1896（明治29）年7月、29歳で卒業したが、その年に苦勞をかけた母を亡くした。

■ 官吏退官後、 方面委員の指導

卒業後は拓殖務省、内務省、警察監獄学校、山口、広島、新潟各県書記官、三重県知事、東洋拓殖会社理事、山口県知事を経て、米騒動直前の大阪で府知事に着任した。そして2年2ヵ月後に依願免本官となって官界から離れる。53歳だった。府知事時代には「大阪府方面委員規定」を制定した。退官後は、日本信託銀行頭取、大阪堂島米穀取引所理事長等民間の役職を歴任したが、その間も逝去するまで30有余年を方面委員制度の発展に尽力した。

■ 制度創設の動機

林は母への思慕を精神的支えとした。古希を迎えて母からのひらがなの手紙を表装し、保存したことにもそれが窺える。そのことを方面委員制度に打ち込む動機だったとする説もある。しかしそれよりも幼少の林に禄の支給が叶ったこと、伯父や済々黌・五高時代の恩師・帝大時代の郷里からの支援は、幸運だったと感じていたはずだ。そして運不運に関わらず、必要とするすべての人に届く支援こそ必要だと信じていたのではないか。そして誰にどういった支援が必要か把握する人の力量こそポイントだということも。林の人生を知るにつれて、その感を強くする。

次回は、「夕刊売り母子」と「栄え日」のエピソードを紹介する予定です。



■ 著者プロフィール

神戸女子大学教授
おがさわら よしあき
小笠原 慶彰 先生

1978年関西学院大学卒業。2012年博士（人間福祉）取得。聖和大学、四天王寺国際教養大学、京都光華女子大学を経て、2014年より神戸女子大学教授。主要著書は、『林市藏の研究—方面委員制度との関わりを中心として』2013年、関学出版会



民生委員・児童委員さん

●守口市民生委員児童委員協議会●

気軽に相談しあえる関係づくりのために
毎月、みんなで開く「定例会」

赤ちゃんから児童、高齢者まで、さまざまな世代を対象にした事業に取り組む守口市民児協の皆さん。これらを円滑に運ぶために、毎月、定例会を開き、情報周知を徹底しています。皆で知って、皆で動く、そんな守口市民児協の活動について紹介します。



世代を超えて
ふれあえる地域に



「三世代ふれあいっ子」で交流する子ども達の様子

守口市民児協では、毎年、全民生委員・児童委員が手縫いの台ふきんを作るという伝統が30年以上続いています。この手作り台ふきんを保育所、幼稚園、小学校、中学校に贈呈。去年は全74か所に各地区担当の主任児童委員が届けました。「一人2〜3枚作るほか、ふれあい教室やひとり暮らし高齢者の会に参加される方も協力してくれます。子どもたちのためだったらって、皆さん喜んで手伝ってくださるんです」と主任児童委員代表の萩原朋子さん。

また、年に2回、小学校の体育館などを会場に、児童、保護者、高齢者の交流を目的とした「三世代ふれあいっ子」を開催。

毎回、150名ほどが参加する人気のイベントです。昔あそびや工作など、15種類ほどの多彩なコーナーを設け、民生委員・児童委員や福祉委員も一緒に、子ども達と楽しめます。



赤ちゃんや高齢者に
やさしい活動も

守口市の健康推進課と連携し「こんには赤ちゃん訪問運動」にも取り組んでいます。守口市では、年間約千人の新生児が誕生。そのうち、民生委員・児童委員と主任児童委員がペアになつて第2子以降のご家庭を回り、年間で260軒ほど訪問しています。

赤ちゃんのようすを見たり、お母さんが悩みを抱えていないか尋ねたり、若いお母さんの育児への不安を少しでも軽減できるよう活動を行っています。



目印の「ステッカー」は、カプセル、冷蔵庫のドア、玄関の内側に貼っておきます。



後列左より寺島登志子 広報・調査部会長、萩原朋子 主任児童委員連絡会代表、大井由喜子 児童福祉部会長、藤田富美子 生活福祉部会長
前列左より加藤昌代 会計、村橋博一 副会長、小川勝 会長、村口初美 副会長、太田圭介 障がい・高齢者福祉部会長

75歳以上のひとり暮らしや障がいのある方には、守口市社協との協働で「もりぐち救急安心力アップセル事業」を展開。救急隊員が駆けつけた時、迅速かつ適切に対応できるよう、かかりつけ医や緊急連絡先を記入したカードを、冷蔵庫ドアポケットに保管しておくものです。

今年で4年目ですが、利用者は3100人を超えています。地区福祉委員と連携することで地域での見守り体制もできてきています。



守口市民児協「定例会」に参加する民生委員の皆さん

例会です。委員全員に詳しい内容が行き届き、情報を完全に共有できるので、委員1人ひとりの意識も高く、事業への参加もとても協力的。守口市全体で取り組んでいるという結束力も生まれます。

これらの事業は、全委員の協力がなくては成し得ません。守口市民児協では、毎月、地区委員長会だけでなく、全委員を対象にした「定例会」を開いています。守口市には、全部で256人の民生委員・児童委員がいますが、この定例会には200人を超える方々が参加されます。

会長連絡会の報告をはじめ、各部会の事業報告、社協からの連絡事項などが全員に周知されます。小中学校へ贈呈する台ふきんの製作や、「三世代ふれあいっ子」で使う工作用の牛乳パックなどの材料集めの協力も定例会でお願いします。



月1回の定例会で
全員が情報を共有



「楽しい定例会を心がけています」と守口市民児協会長の小川勝さん

「全員にお目にかかれるのはこの時だけなので、私自身も定例会が楽しみです。その前後の時間が、とても賑やかで楽しいこと。各地区の状況を聞ける大切な場でもあります」と守口市民児協の小川勝会長。「強制参加ではありませんが、多くの委員さんが参加してください。守口市で代々引き継がれてきたことなので、大事にしていきたいです」と話されます。

定例会の後に、地区委員会を開くところもあれば、お茶会やお食事で情報交換をされる方々もいます。そこで地区の持つ悩みを共有したり、一人では解決できない問題を話し合ったり、経験者の方の意見を取り入れたり。定例会は、民生委員・児童委員同士の交流を深め「楽しい民児協」として活動していくために、欠かせない場になっています。



交流を深めて
楽しい民児協に



2月定例会にて

近年、我が国では犯罪被害者の支援しようとの機運が盛り上がり、被害者家族の裁判への参加が認められるなど、被害者へのサポート体制が整いつつあります。

一方で若くして犯罪に手を染めてしまった人の更生はなかなか社会では受け入れられず、再犯を犯す人が少なくありません。

池田市民児協

罪を犯してしまった人に寄り添い、立ち直りの支援を行うことで再犯を防止することが重要であると認識させられました。

青少年の犯罪者の多くは子どもの時に虐待を受けた経験があり、女性の被保護者には性的虐待を受けた人もかなりいるとのこと。

民生委員・児童委員は更生保護に直接関わることは少ないと思われませんが、「虐待を受けて育った親は自分の子どもを虐待しがちである」ということを心に留め、虐待の連鎖を切ることができよう民生委員・児童委員が関わってほしいとのことでした。

青少年の犯罪者の多くは子どもの時に虐待を受けた経験があり、女性の被保護者には性的虐待を受けた人もかなりいるとのこと。

民生委員・児童委員は更生保護に直接関わることは少ないと思われませんが、「虐待を受けて育った親は自分の子どもを虐待しがちである」ということを心に留め、虐待の連鎖を切ることができよう民生委員・児童委員が関わってほしいとのことでした。

民児協だより

〔北摂ブロック〕池田市

講演会『出遭い』

〳加害者支援の現状について〴〵

池田市民児協は平成28年2月の定例会において、犯罪者の社会復帰を支援しているNPO法人ホザナ・ハウスの代表理事 森康彦氏をお招きし、講演会を開催しました。

近年、我が国では

青少年の犯罪者の多くは



NPO法人ホザナ・ハウス代表理事 森 康彦氏
による加害者支援の現状についての講演会



「深野子育てサロン」

深野地区委員会では『子育てサロン』を年4回開催しています。

内容は、保健師による育児相談、身長・体重測定があり、大人気のエプロンシアター、親子で作る手づくりおもちゃ、親子の笑顔が満開です。

10月には、隣の公園でミニ運動会として、かけっこ、玉入れ、パン食い競争など、屋外でも走りまわっています。2月は、千代紙でお雛さま飾りのかばんを作って、その中に雛あられを入れ、お土産に持って帰っていただきました。帰りには、アンケートを書いていただきます。

①とても楽しく参加できました。②ママ友ができました。③不安があったことを相談できました。④これからも参加します。などうれしい回答がありました。

参加者も少しずつ増えて、毎回20〜30組の親子が参加しています。準備は大変ですが、主任児童委員を中心に皆で力を合わせて行っています。地域の皆さんの子育てに少しでもお手伝い出来ればと、楽しく取り組んでいます。今年度も事故なく開催できるように、頑張ってください。

大東市民児協
深野地区委員会



10月ミニ運動会



みんなでなが〜いトンネル



リズム遊びをしました。



民児協だより



取材×毛

河内長野市

子育て支援事業

「みんなあつまれ」
すべて手づくりが

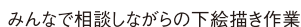
平成19年からスタートした子育て支援行事の「みんなあつまれ」。毎年8月に河内長野駅前前の河内長野市立子ども子育て総合センター「あいく」で開催しています。参加者の間で評判が広がり、公民館や私立保育園での開催も増えてきています。

「みんなあつまれ」の中味

は、ロール紙芝居とパネルシアターです。「人気の秘密は、すべて主任児童委員の手づくりです」と山本淑子部長。紙

です」と山本淑子部会長。紙芝居の下絵描きや絵の色塗りは午前9時から午後4時ごろまですることもあります。また、紙芝居が完成した後は、台本に合わせながら人形を動かしたり紙口ルを回したりするタイミングを何度も練習して本番に臨みます。

市内保育園で開催した「みんなあつまれ」





参加者による車イスダンスの体験



大玉転がし

〔泉州ブロック〕高石市
第27回 ふれあいスポーツ大会
障害者福祉部会が参加・協力

障がい児者の社会参加の促進と住民との交流を深める目的で「ふれあいスポーツ大会」が6月4日市立総合体育館（カモンたかいし）にて開催されました。

今回は、今年の秋に迎える市制50周年を記念し、特別公演として、ジェネシスオプエンターテイメント（※）を招きました。オープニングでは、

車いすダンスが披露され、音・光・スモークの演出の中、華麗な演技に参加者は魅了されました。

また、参加者自身が車イスを使ったダンス体験も楽しめました。

この大会の参加者は市内10障がい者団体のメンバーと家族をはじめ、一般参加者やお手伝いをするボランティアグループ9団体（羽衣国際大学・大阪体育大学・桃山学院大学・南海福祉専門学校などの学生ボランティアを含む）と社協のスタッフもあわせて総勢500人を超えました。パン食い競争や大玉ころがし、宝つり競争など参加者は一体となってふれあいや交流を楽しみ、大いに盛り上がりしました。

高石市民児協



宝つり競争

（※）ジェネシスオプエンターテイメント
自主公演や各自治体にて車いすダンス公演を開催し、障がいのある人が車いすダンスなど「生きがい」を「職業」へとしていくことをめざして活動している。

今期の大阪府民児協連主任児童委員連絡会では、民児協会長との連携強化や市町村の代表者の横のつながりを強化するため、ブロック事業や、主任児童委員連絡会の充実に取り組んできました。今号は主任児童委員連絡会の取り組みについてお伝えします。

児童福祉部会長や大阪府民児協連副会長も参加

年2回開催している主任児童委員連絡会では各市町村の代表者が集まり、各市町村の活動報告やグループでの情報交換会を通して、大阪府内の主任児童委員活動の取組み状況等や現状の課題についても共有し、今後の取り組みを検討しています。

連絡会には、主任児童委員連絡会担当の福永副会長や児童福祉部会の三浪部会長も参加。

主任児童委員活動の理解を深めてもらいながら、民児協会長と主任児童委員との連携強化を図っています。



三浪部会長



福永副会長



府内の取組みや課題を共有・発信することで次の取り組みへつなげる

平成27年度の主任児童委員連絡会では事業計画の重点事業であった「障がいを抱える親子の支援について」をテーマに連絡会を開催。事前提出資料では、行政からの障がい児の情報提供がない市町村が91%にのぼるなど、支援に取り組みにくい現状が明らかになりました。それを児童福祉部会でも共有し、児童委員とともに、引き続き行政に働きかけることになりました。

地域で孤立している親子を支援するためにできること

平成28年度は、地域で孤立している親子の支援を検討するため、放課後子ども教室やサロン、子ども食堂などの各市町村で実施している取り組みを共有。取り組んでいる市町村は約6割で実施主体は行政が一番多い結果となりました。



連絡会様子

そして、子どもの居場所づくり(食事の提供)に民児協としてかわつていく羽曳野市民児協と泉大津市民児協の活動報告をおして、地域課題を明確化し、関係機関との連携強化をはかること、そこからさまざまな形での協力を検討・実施していくことが重要であると確認しました。



主任児童委員連絡会役員のみなさん
左から 北摂ブロック(島本町)川淵敬子さん
河北ブロック(守口市)萩原朋子さん
河南ブロック(八尾市)的場恵子さん
泉州ブロック(高石市)伊藤鼓代さん

これから地域で親子に寄り添うために

児童虐待や、貧困など、地域の親子を取りまく課題は多岐にわたります。大阪府民児協連の主任児童委員連絡会的場代表は「主任児童委員も民児協の一員という意識をもち、児童委員と主任児童委員と一緒に楽しく活動することが、子どものよりよい支援につながる」と語ります。「斉改選後も主任児童委員連絡会の取り組みがさらに発展していくことが期待されます。」

本誌でご紹介した素敵な商品を抽選でプレゼントします。

35号 読者プレゼント

FAX・HP
から

たくさんのご応募お待ちしております!



1 クロスステッチ バッグセット 1名様



2 グラニーバッグ セット 1名様



3 袋物セット 2名様

応募方法

必要事項をもれなくご記載いただき、締切日までにFAXまたは本会ホームページの応募フォームからご応募ください。

応募締切 平成28年8月19日(金)
午後5時必着

必要事項

- ①氏名(ふりがな)②住所③電話番号④所属(民生委員・児童委員、関係機関職員、その他)
⑤希望する商品番号⑥一言コメント(本誌へのご意見・ご要望などお気軽にお寄せください)

宛先 大阪府民生委員児童委員協議会連合会事務局

[FAX]06-6762-9487

[H P]<http://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyo/>



★
《34号の当選者》おめでとうございます! 守口市T・Aさん、泉南市N・Tさん、守口市S・Mさん、寝屋川市Y・Mさん
★
皆さんご応募ありがとうございました!

事務局だより

一斉改選に向けて
活動のふりかえりと
引き継ぎ準備をいしましょう!

今年の12月に一斉改選を迎えます。

委員の交替により、地域での活動が滞ってしまった
り、支援していた地域住民に影響を与えることのないよ
うに事前に引き継ぎのための準備を進めておきましょ
う。また、引き継ぎ委員として活動される方も、これま
で活動で得た情報を整理する、見直すなど一斉改選
を自分の活動をふりかえる機会と捉えましょう。

引き継ぎ準備のポイントとしては、現在自分が把握
している最新の情報や必要な情報が次の委員に正しく
引き継がれることが最も重要です。

同時に民生委員・児童委員としての職務内容の理解
や守秘義務等のルールや心構えはもちろんのこと、次の
委員が継続して活動ができるよう民生委員・児童委員
活動のやりがいについてもしっかりと伝えていきましょう。

平成30年の方面委員制度創設100周年と
平成29年の民生委員制度創設100周年を
ともに盛り上げていきましょう!!

全国的には大正6年(1917年)の岡山県の済世
顧問制度創設から100年の平成29年度に向けて記
念事業に取り組んでいます。大阪府民児協連として
は、民生委員制度創設100周年(平成29年度)とと
もに、方面委員制度創設100周年(平成30年度)を、
平成28年度〜平成30年度にかけて一体的にPR活動
を展開していくことにしています。

地域でも、さまざまな広報ツールを活用することで、
活発なPR活動を推進し、100周年事業を盛り上げ
ていきましょう!!

民生委員・児童委員が
応援団!!

わがまち
★逸品★

貝塚市民児協

Vol.2

表紙の商品の紹介

社会福祉法人
いぶき福祉会
貝塚いぶき
作業所のみなさん

開所37年を迎える「貝塚いぶき作業所」は、貝塚市に最初にできた障害福祉サービス事業所。現在60人が通所し、内職などの軽作業のほか、縫製品と陶芸品の制作に力を入れています。

縫製品は、巾着袋やショルダーバッグ、ポーチ、ペットボトル入れ、雑巾など、定番だけでも10～20種類を製作。中でも人気なのが、芯材に牛乳パックを利用した正座椅子で、作ってもすぐに品薄状態に。年度末には近隣の保育所から卒園記念用のレッスンバッグの受注があり、子どもたちにも大変喜ばれています。「裁断はボランティアさんに手伝ってもらいますが、ミシン掛けと刺しゅうは、それぞれ上手な利用者さんがいるので、専任で担当してもらっています。指導には、地域のボランティアさんが、毎日来てくださるんですよ」とスタッフの堀さん。

一方、陶芸の製作は、20年前に施設が認可された当初から行われています。週に1～2回、技術指導の先生が来られ、粘土の成形から色付けまで、全て利用者さんが手がけます。



小さな物ほど繊細な技術が必要。最近、難しい食器も作れるようになってきました。



下絵をなして、見事に絵柄を刺しゅうする利用者さん



得意なミシン掛けの作業をする利用者さん



棚には、花瓶や小皿、湯飲み、ティーカップ、ランタンなど、手づくりの良さを生かした作品が数多く並んでいました。

作業所には電気窯が2台あり、食器作りなどの仕事を依頼されることもあるそう。また、夏休みに小学生を対象にした陶芸教室を開いたり、施設のおまつりで、大人から子どもまで楽しめる陶芸体験イベントを開催。さらに、保育所の園児たちが卒園記念の作品を作りに来るなど、陶芸体験を通じて地域の方々に施設を解放しています。

このように、日頃から地域との交流が盛んな作業所では、利用者さんの方からも公民館などで開催される地域のイベントに積極的に参加。「当施設では、『生まれてきてよかったといえる人生とまちをもとめて』を理念に掲げています。ですから、日頃から社会とのつながりを一番大切に

にしているんです」と所長の兒玉和憲さんは話されます。

これからも地域とともに歩む施設として、皆さんの活躍が期待されます。



人気の正座椅子は、いぶき福祉会の利用者さんにも愛用

「いぶきの縫製品はデザイン・実用性ともに大好評で、いろんなイベントで飛ぶように売れるんです。これからも頑張ってください。応援していますよ!」と話す貝塚市民児協会長の井上菊信さん

★注文・お問い合わせ先★

〒597-0073 貝塚市脇浜3丁目25-74

TEL.072-423-5439・5417

FAX.072-429-2066

<http://www.kaizukaibuki-ibukifukusikai.jp/>

編集後記

熊本地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。熊本県は林市蔵氏の出身地。特別な思いを感じずにはいられません。本誌6Pに掲載されている記念碑は地震の被害を受けず、無事だったようです。

被災された皆様の1日も早い復興をお祈りします。

Well ウエル おおさか

vol.35
(通巻69号)



発行日:平成28年7月

発行:大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局:大阪市中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <http://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyoo/>



QRコードから
簡単アクセス